

## 令和5年度 第1回青森市子ども会議

- 1 日 時 令和5年6月25日（日）12時00分～15時00分
- 2 場 所 青森市役所本庁舎 1階サードプレイス・3階会議室
- 3 出席者 子ども会議委員18名、子どもサポーター3名、事務局4名
- 4 活動内容
  - (1) 市長報告リハーサル
  - (2) 市長報告
    - 1 開会
    - 2 市長あいさつ
    - 3 自己紹介
    - 4 令和5年度青森市子ども会議の活動について
    - 5 市長から激励の言葉
    - 6 写真撮影
    - 7 閉会
  - (3) 浪岡子どもの祭典に向けた準備

### 5 開催概要

ついに市長へ今年度の活動計画を発表する日になりました。これから今年度の活動が本格的に始まります。

#### 市長報告リハーサル

最後の打ち合わせを行い、役割や流れを確認し自分の発表部分を練習してから、実際に会場へ移動して通しの練習をしました。司会は新しく入った小学生委員が務め、緊張しているからか早口になってしまうので、ゆっくり話すことを心掛けて本番に挑みました。

#### 開会

司会の開会のあいさつにより、第1回青森市子ども会議が始まりました。堂々とした大きな声で進行を務めました。



#### 市長あいさつ

こんにちは。青森市長の西秀記です。令和5年度、私にとっても、皆さんにとっても初めての子ども会議ということで、こうしてお会いできたことをうれしく思います。

新たな委員の皆さんも、これまで参加されていた委員の皆さんも、それぞれお互いの意見を大事にしながら、楽しく話し合い、皆さんらしい子ども会議を一体となって作りあげていくことを期待しています。

今年度、皆さんがどのように活動していくのか、これから発表していただけることを、とても楽しみにしています。どうぞよろしくお願いいたします。

## 自己紹介

今年度一緒に活動していく委員及びサポーターが、青森市の好きなおとこやこれから子ども会議でやりたいことなど一言を添えて自己紹介しました。

## 令和5年度青森市子ども会議の活動について

今年度の活動予定について、市長に向けて委員の代表6名による発表がありました。

### <発表の概要>

令和5年度の青森市子ども会議は、小学生8名・中学生12名、高校生5名の委員25名と、サポーター9名の合計34名のメンバーでスタートしました。

「もっと魅力あふれる青森市に!」のテーマのもと、今年度は「もともとある魅力を普及するグループ」と「魅力を改善・新しくつくりだすグループ」の2つに分かれて活動を進めていく予定です。「私たちが知っている青森市の魅力をたくさんの人に伝えたい」「そして私たちも知らない青森市の魅力を見つけない」「もっと魅力のある青森市をつくる手伝いをしたい」という思いからテーマを決めました。

1つ目の「もともとある魅力を普及するグループ」では、子ども会議公式 Instagram を活用して、これまで子ども会議で紹介していなかった「青森市の有名なものやスポット」のほかに、「青森市の食」や「子どもの権利」などを短い動画でPRしたいと考えています。また、他都市との交流などの機会を通じて、市外の人にも青森市の魅力が伝わるよう、PRを頑張ります。



2つ目の「魅力を改善・つくりだすグループ」では、子どもの目線で「仮想青森市」のまちづくりについて話し合うことで、新しい青森市の魅力に気づいたり、読書率の向上やごみの減少に向けた活動を行うほか、浪岡の「子どもの祭典」や「青森ねぶた祭」などのイベントにおいて、子どもの権利をPRすることで、より魅力あふれる青森市をつくる手伝いをしたいと思います。全体の活動としては、

全国の子ども関係団体が参加する「子どもの権利条約フォーラム」へ昨年度に引き続き参加するほか、子ども会議が主催するトークイベントにおいては、自分たちの手で子どもの権利や子ども会議についてPR活動を行います。

そして、青森市子どもの権利の日である11月20日にちなみ、一大イベントである「青森市子ども会議フォーラム」を開催し、今年の活動を通して気づいた疑問や子ども会議委員からの提案を青森市へ行き、3月には1年間の活動を市長に報告する「活動報告会」を行います。

今年度の子ども会議の抱負は「みんなが自慢できる青森市にするため、かくれた魅力を自分たちの手で輝かせよう!」です。学校・学年も様々ですが、新しいメンバーと一緒に協力しながらがんばりますので、よろしくお願いいたします。

以上で発表を終わります。ありがとうございました。



## 市長から激励の言葉

とても良い発表をありがとうございました。今の発表の中でもありましたが、青森市の歴史や文化を学ぶことはすごく重要なことです。過去にどんな歴史があったのか、青森市の独特な文化としてどんなものがあるのかを1人1人が知ること、観光資源として上手に活用できたり、食べ物でも優れたものがいっぱいあることに気づけます。

私は今まで「青森市って良いでしょ」と自慢できる気持ちを持つことに「シビックプライド」という言葉を使ってきました。直訳すると“市民の誇り”となりますが、これは単に人から与えられるものではなく、今回のように皆さんが実際に活動して「青森市の魅力ってなんだろう」と探し出して磨き上げていくことで、誇らしい気持ちに繋がっていくものです。自分が動くことでシビックプライドはどんどんどんどん大きくなりますので、みなさんがより大きなシビックプライドを持っていけるようにこれからも活発な活動をしてください。

みなさんだけでなく大人も含めた青森市民が青森市の魅力にもっと気づき、このまちをもっともっと好きになっていけるように、私も青森市長として取り組んでいきたいと思います。

今日は本当にありがとうございました。



## 写真撮影・閉会

最後にみんなで市長と一緒に写真撮影をし、閉会となりました。



## **浪岡子どもの祭典に向けた準備**

準備するものがたくさんあったので、グループに分かれて作業を進めました。

的あての的を作るグループでは、それぞれが思う「けんりしんがいくん」を作ったり、模造紙グループでは色鉛筆で最後の仕上げをしたり、クイズグループでは10問近い問題を考えたり、チラシデザイングループでは見る人の心が惹かれるような言葉やデザインを考えたり、Instagramグループでは投稿文、タグ、写真を考えたりと、それぞれのグループが子どもの祭典に向けて最後の追い上げを頑張りました。

当日は、ゲームなどを通して子どもの権利を知ってもらい、なによりもたくさんのお子どもたちに楽しんでもらえるように頑張りたいと思います。